



# けやき

宇都宮市立上河内中学校

学校だより 第8号

発行責任者 校長 西原 良一

## 大いに盛り上がった文化祭

10月26日（土）に予定どおり、今年度の文化祭・合唱コンクールを実施しました。

今年度はオープニングに自作動画が取り入れられるなど、今まで以上に手の込んだ開会式となりました。

そして、恒例となっているモザイク壁画も開会式でお披露目されました。

今回は「栃木県に所縁のある4人のアスリート」、「来年行われる東京オリンピック・パラリンピックのマスコットキャラクター」と「文化祭のスローガン」が描き込まれた壁画となりました。毎回その大きさゆえに前日の貼る作業にはかなり苦勞しています。



【ステージ後方壁面に貼られたモザイク壁画】

### 《文化祭実行委員長として尽力した D・S さんのコメント》

私は文化祭を通して改めて友達の素晴らしさを感じました。

私は今回、パートリーダーと実行委員長という重要な役割を務めさせていただきました。しかし、私は人をまとめることが苦手なことや自覚が足りなかったことも相まって、肩書はあったものの仕事はこなせていませんでした。さらに周りに迷惑をかけてばかりでした。

そんな時、私のことを叱ってくれる友人がいました。自分がいけないことをしている時に自分のことを想って叱ってくれる。そんな友人がいたことをとても嬉しく思いました。それから自分の行動を改め、わからないながらも一生懸命取り組みました。

そしたら、クラスの仲間も一生懸命協力してくれ、実行委員の仲間も協力してくれました。自分一人の力には限りがある。協力してくれる人がいて、支えてくれる人がいて、叱ってくれる人がいて、多くの人の協力があって目標を達成できる。何かを成し遂げられるのだと思いました。

私は文化祭という行事を通して、友達の大切さ、素晴らしさを感じました。そして、協力できる仲間がいることを、叱ってくれる人がいることに感謝し、残り少ない中学校生活を今よりもっと充実したものにしていきたいです。



# 合唱コンクールでの受賞者の声

## 《合唱コンクールで最優秀賞を受賞した

### 3年1組 代表 Y・H さんのコメント》

3年生にとっては最後の文化祭。各クラスそれぞれが練習に励み頑張ってきたと思います。私たちのクラスでは各パート練習を経て合わせるにつれて、欠点改善のために話し合ったり、歌詞の流れにあわせて気持ちを切り替えたりと、よりよい合唱になるようにみんなで創意工夫しました。みんなの想いが歌にこもっていたのか、見事に学年賞、そして最優秀賞を手にすることができました。これはみんなの頑張りとその頑張りに応じてくれたパートリーダーと指揮者・伴奏者の努力の結晶だと思います。

講評で男女のバランスを評価していただけたのは練習成果を十分発揮できたということなので、私たち自身、大変思い出に残る1日となりました。



## 《合唱コンクールで最優秀指揮者賞を

### 受賞した Y・S さんのコメント》

今回最優秀指揮者賞をとることができてとてもうれしかったです。でも、僕が一番うれしかったことは3-2の合唱で指揮者をすることができたことです。3-2の皆がいなかったら指揮者賞はとれなかったし、あんなに楽しく指揮することはできなかったと思います。

中学校生活最後の文化祭で最高の思い出ができて良かったです。



## 《合唱コンクールで最優秀伴奏者賞を受賞した Y・M さんのコメント》

最優秀伴奏者賞ありがとうございます。私は1年生の頃から憧れていた伴奏者賞が取れてとても嬉しく思っています。時には思うように弾けず、泣いてしまったり、もう弾くのをやめたいと思ってしまったりということも少なくはありませんでした。

でも、練習していくうちに伴奏者賞への近道は練習しない日を作らず、毎日コツコツと練習を積んでいくことが大切ということがわかりました。それから強弱や入り方などの工夫をつけ足していきました。そして本番では、”完璧に弾く”という目標でしたが、最後の方でミスが目立ち、頭が真っ白になってしまいました。ですが、2回目の伴奏では”完璧に弾く”ことができました。

今回の文化祭を通して努力することやあきらめないことの大切さを学ぶことができました。私にとって今回の文化祭が一番思い出に残る最高の文化祭でした。

